

2017年度 春学期 マクロ経済学初級 I
火曜日1限 担当：経済学部教授・尾崎裕之
コースディスクリプション

[前半] 第1回から第7回：経済学入門（テキストなし）

[後半] 第8回から第14回：テキストに沿ったオーソドックスなマクロ経済学入門

テキスト（後半）『マクロ経済学・入門 第5版』福田慎一・照山博司 [著] 有斐閣アルマ
参考書（後半）『演習式 マクロ経済学・入門 補訂版』福田慎一・照山博司 [著] 有斐閣
（あくまで参考書で、講義のために必要ではないし、試験をここから出す訳でもない。）

第1回（4月11日）	イントロダクション
第2回（4月18日）	消費者の理論（1）効用関数と無差別曲線、限界代替率
第3回（4月25日）	消費者の理論（2）予算集合と効用最大化、需要関数の導出
第4回（5月2日）	生産者の理論 生産関数、生産可能集合、等利潤線
第5回（5月9日）	ロビンソン・クルーソー・エコノミー（1）基本的枠組み
第6回（5月16日）	ロビンソン・クルーソー・エコノミー（2）市場均衡
第7回（5月23日）	ロビンソン・クルーソー・エコノミー（3）市場メカニズムの効率性（見えざる手）
第8回（5月30日）	GDP、国民経済計算、三面等価の原則、景気循環（テキスト：pp.1-29）
第9回（6月6日）	消費の決定、ケインズ型消費関数、ライフサイクル仮説、恒常所得仮説（テキスト：pp.31-46）
第10回（6月13日）	投資の決定、資本ストック、フローとストック（テキスト：pp.65-82）
第11回（6月20日）	投資の決定（続き）、新古典派理論、ジョルゲンソンの投資理論、調整費用モデル（テキスト：pp.82-89）
第12回（6月27日）	企業の資金調達、株価の決定、トービンの q （テキスト：pp.97-120）
第13回（7月4日）	ケインジアン・クロス、均衡国民所得の決定、乗数理論（テキスト：pp.163-178）
第14回（7月11日）	財市場と IS 曲線（テキスト：pp.179-183）
期末試験	定期試験期間内のいつか：7月22日（土）～31日（月）

評価方法：期末試験による。マークシートを用いるので、過年度の注意事項を事前に見ておくこと。前半と後半から万遍なく出題。出欠確認、授業内小テストは行わない。(つまり、履修者の学習意欲を信じるということ。)

質問等：講義は 10 時 15 分頃まで行い、残りの時間を質問への回答に充てる。練習問題、過去の問題などの資料は、尾崎のホームページ：

<http://web.econ.keio.ac.jp/staff/ozaki/lectures.html>

に随時掲載するので、頻繁に確認すること。